

夏・主役を育てる

地域づくりは人づくり。その人づくりのための一環として、ことしも、少・青・壮年の各層を対象に、公民館生涯学習講座のひとつの和太鼓教室が始まりました。榛東ふるさと太鼓のみなさんが、夜、暑さが残る南部コミセン多目的ホールで、将来の地域づくりとなる夏祭りやイベントなどの主役たちを育てていました。



 広報

1993年 8 月号 (No.268)

しんとう

主 な 内 容

老人保健福祉計画策定にともなう
住民意識調査の結果… 2～7ページ
平成5年度総合表彰… 8ページ
財政事情の公表… 9ページ
むらのニュース… 10～11ページ
話題あれこれ… 12～13ページ
くらしの情報… 14～15ページ
こちら保健婦… 16ページ

西暦二千年までの

老人福祉社会を考える

村では、来るべき長寿社会に対応して、みなさんがいつでも、どこでも、だれでもが保健・福祉サービスを受けられるようにするため、来年度から西暦二千年までの六年間の指針となる「榛東村老人保健福祉計画」を策定します。今月号では、ことしの二月に行われた老人保健福祉計画策定の基礎となる住民意識調査の結果を紹介いたします。
(順不同・要約)



この調査結果はご協力いただいた千二百六十六人のみなさんの回答をまとめたものです

高齢者アンケート結果

回収率は96・2%

高齢者アンケートは、村内に住する満六十五歳以上のみなさんに対して行われました。無作為に選んだ六百二十五人の内、六百一人の方が回答し、回収率は九十六・二割となっております。

回答者の内訳

(一) 性、年齢
性別についての回答は、男性二十九割、女性三十五割、そして無回答が三十五割となっております。年齢は、六十代後半が三十四割

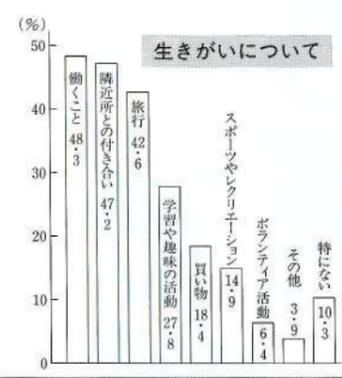
を占め、高齢になるにつれて少なくなりです。

(二) 配偶者
配偶者と同居しているのは、全体の六十二割、死別が二十一割となっております。

(三) 家族構成
家族構成では、高齢者のみの世帯は二十二割で、「一人暮らし」は全体の五割、「夫婦のみ」が十五割となっております。

生きがい、就労の状況

(一) 生きがい
【現在の生きがい】この表には示



しませんでしたが、年代別に男女を比較すると、男性に比べて、女性はかなり高齢になっても何らかの生きがいをもっている人が多いという結果も出ています。

一般住民アンケート結果

回収率は98・4%

一般住民アンケートは、村内に住んでいる二十歳から六十五歳未満のみなさんに対して行われました。無作為に選んだ六百二十五人の内、六百十五人の方が回答し、回収率は九十八・四割となっております。

回答者の内訳

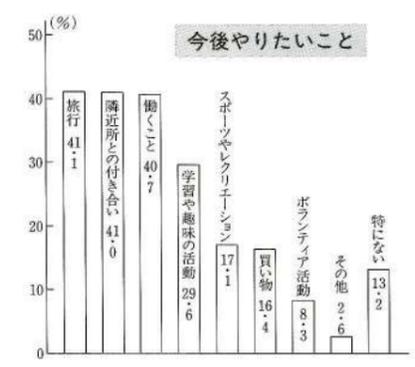
(一) 性、年齢
性別についての回答は、男性五十四割、女性四十五割でした。年齢は四十代が最も多く、全体

の二十七割、次いで二十代が二十割です。

(二) 職業
「常勤」が四十三割、「パート、非常勤」十一割、合わせて五十四割が勤め人です。女性の中でも「専業主婦」は二十七割にすぎませんでした。

(三) 家族構成、高齢者の有無
家族構成は「二世帯世帯」が過半数の五十二割、次いで「三世帯世帯」二十二割などとなっております。また、六十五歳以上の高齢者がいる世帯は、全体の三十三割でした。

【今後やりたいこと】
表に示すとおりです。



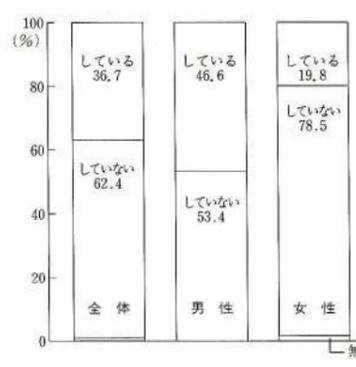
(二) 収入

【月収】高齢者自身の月収は「五万円未満」（収入ゼロを除く）が最も多く全体の三十一割を占めています。

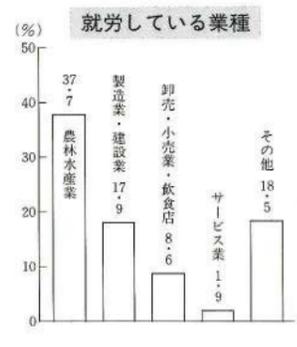
(三) 就労

【就労率】収入をともなう仕事をしている高齢者は、全体の三十七割、男性では四十七割を占めています。

収入をともなう仕事の有無



【業種】仕事の内容は「農林水産業」が最も多く、仕事をもっている人の三十八割を占め、次いで「製造業、建設業」十八割となっております。男女ともに「農林水産業」が多く、女性はそれに集中していますが、男性は「製造業、建設業」へも流れています。



【就労日数】仕事をしている人の一週間の就労日数は「ほぼ毎日」が多く、仕事をもっている人の四十割を占めています。また、表には示しませんでした。また、表には以下の四割以上の人が「ほぼ毎日」就労していると回答しました。

住環境

(一) 老人用居室の有無
自分自身あるいは夫婦専用の居室が「ある」のは、全体の八十三割でした。

(二) 住居に関する悩み
「特に困っていることはない」は五十一割でしたが、この困っていないと回答した数値が高いから、高齢者向けの改善がすすんでいるとは考えられません。健康な高齢者の一般的な傾向として、住宅に不便な点、あるいはケガの危険があるにもかかわらず、長年の慣れによってそれが意識されていないことも少なくないからです。

(三) 高齢者向け増改築
高齢者向けの増改築計画があるのは、全体の十三割。その中で、「トイレを洋式にする」「三十七割」や「浴室、浴槽の改善」三十三割といったように、高齢者向けの改善を行う場合、この二点の重要性が認識されています。



(四) 居住年数・居住形態
榛東村での居住年数が最も多いのは「二十年以上」が四十九割。五年未満の短期者も全体の十八割で意外に多い値となっております。居住形態では「持ち家」が八十二割を占めています。

老後に関する意識

(一) 老後の生活設計
老後の生活設計を考慮することがある人は、全体の六割で、男性よりも女性の値が高く出ています。また、年代別では、すでに三十代で六割近くの方が考えています。

(二) 老後の健康への不安
老後の生活設計で、老後の健康に不安を感じる人は、全体の六十八割。

年代別にみると、すでに二十代で四十六割、三十代で七十三割、四十代で六十六割が不安を感じています。

不安の内容は「寝たきりになってしまう不安」三十七割、「重い病気になる不安」三十五割、「痴呆」三十五割、「痴呆」三十五割、「痴呆」三十五割の順で、高齢者では「痴呆」のほうに関心が高かった結果とは、逆になっていきます。

(三) 老後の生活費
「自分で準備し、家族や社会保障などに頼らないようにすべきだ」と考える人は三十九割、「家族が面倒を見るべきだ」が十割、「社会保障によってまかなわれるべきだ」

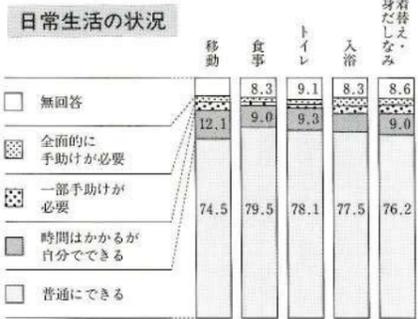


段差が多い日本家屋は、福祉の向上とともにどのように進化するか。

心身の状態

(一) 生活自立度
「介助なしでは外出できない」、「家で何らかの介助を必要とする」、「介助を必要とする」といった寝たきりとそれに準じる層を合わせた「準・寝たきり層」は十一割という値で、この値は他の町村と比較すると、少し高くなっています。

(二) 日常動作の状況
入浴が「普通にできる」のは全体の七十八割。「時間はかかるが自分でできる」が八割、「一部手助けが必要」は三割。「全的に手助けが必要」も三割。したがって、入浴に介助を必要とするのは六割ほどになります。風呂を改造する場合は、介助のことを考慮しなければならぬと思います。



(二) 病気の内容
病気の具体的な内容は「高血圧」が最も多く、病気がかかっている人の四十二割を占めています。また、男性に比べて、女性では「腰やひざの痛み」四十三割が多くなっています。

(三) 治療形態
病気の治療については「病院・医院に通院」が、病院にかかっている人の七十九割を占めています。「治療を受けていない」は八割でした。

(四) 医師の所在地
治療を受けている医師は「村内」が二十三割、「村外」が七十七割で、

(三) 身体的能力

【視力】眼鏡使用も含めて、目が「普通に見える」のは全体の六十五割。「やや見えにくい」三十一割で、視力に大きな障害をもっているのは一割弱でした。

【聴力】補聴器使用も含めて、耳が「普通に聞こえる」のは全体の七十七割で、「大声でも聞こえにくい」という聴力に大きな障害をもっているのは一・五割でした。

【言葉】言葉に不自由はないと答えた人は全体の八十九割で、「言葉が出ない」といった言葉の障害をもつのは〇・五割でした。

【記憶】記憶に関しては「普通に記憶している」のが全体の三十八割、「ときどき物忘れをする」がいちばん多く五十一割。そして、「最近のことも忘れる」七・九割と「自分や家族の名前も忘れる」一・二割は、痴呆の疑いがあると考えられます。

【意志疎通】意志の疎通に関しては「普通に通じる」のが全体の八十四割。そして、「ほとんど通じない」〇・六割と「まったく通じない」〇・五割は重度の障害がある比率です。

(四) 日常生活での悩み
日常生活の悩みから、一人暮らしのせよ、生活自立度の低い層にせよ、生活状況が困難になるほど、「健康」という直接的な問題が意識されることは当然ですが、同時にコミュニケーション

情報、ネットワーク

(一) 健康に関する情報ニーズ
健康について知りたいことは「成人病の予防」三十八割、「痴呆の予防」三十四割が高い値となっています。「寝たきりの予防」は十二割でした。

(二) 緊急時の連絡先
「隣近所の人」も三割近い値が出ています。また、一人暮らし世帯や本人と他の高齢者のみの世帯では、この「隣近所の人」の比率が高く、四〜五割程度に達し、高齢者世帯における地域内の互助体制の重要性が認識できることから、

村外依存度が高い結果となっており、

保健福祉サービス

(一) 利用度、認知度
表に示すとおりです。



健康に関する意識と実態

(一) 健康状態
健康状態を年代別で見ると、年齢が上がるにつれて健康意識が低下し、三十代までは約八割以上が健康と答えています。五十代では六割台に落ちていきます。逆に健康に不安がある人は五十代以上で三割をこえています。

(二) 病気の実態
最近一年間に何らかの病気にかかった人は、全体の五十九割。六十歳から六十四歳までの人は、八割に近い値が出ています。また、かかった病気が「歯の病気」が全体の四十割を占め、各年代に共通して多く、「腰やひざ」と「高血圧」は年齢が上がるにつれて多くなっています。

(三) 健康診断の実態
最近二年間に健康診断を受けた



人は、全体の八十五割で、受診しなかった人の理由は「受ける暇がなかった」が四割弱、「健康に自信があった」は二割です。

(四) かかりつけ医師の有無
全体の四十三割がかかりつけの医師を決めており、年齢が上がるにつれて決めている人が増えています。

(五) 健康に関する留意点
食生活上の留意点

食生活では「塩分をとりすぎない」と「一日三食」がともに四十割で多く、何も注意していないのは二十代の人が多く、四割近い値でした。

日常生活の上で特に注意しているのは「十分な睡眠をとる」四十八割、「定期的な健康診断を受ける」三十八割で、「定期的な健康診断を受ける」は十七・三割でした。

(六) 健康に関する情報源
健康に関する情報源は「テレビ」六十七割や「新聞」二十九割で、「家族や友人」も二十割と高い値

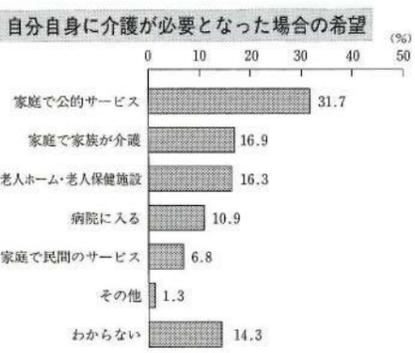
でした。この値を高齢者の回答結果と合わせて考えると、在宅介護と施設介護、ともに将来のニーズが高まることが予想されます。

(七) 健康に関する情報ニーズ
健康や福祉施策に関して知りたいことは「薬の薬効、副作用」三十一割、「成人病」二十八割で、「福祉施策」は二十四割でした。

情報ニーズは全般的に、男性よりも女性が高く、「薬の薬効」は女性の三十五割が関心をもっています。また、「家庭での介護」は全体で十一割と低く、高齢者のいる世帯でも十六割と低い値でした。

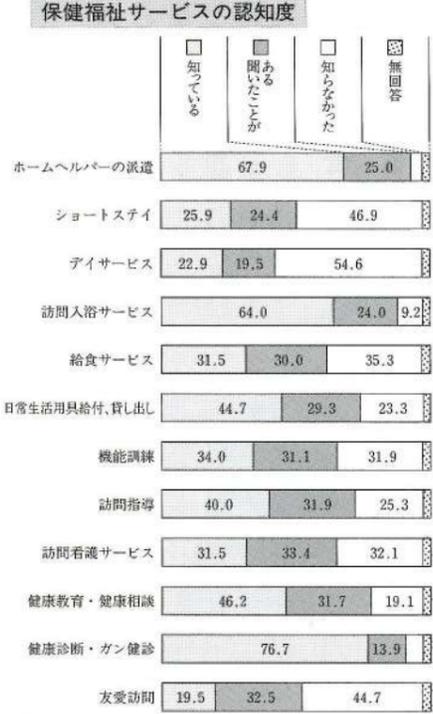
介護のニーズ

(一) 本人の場合
家庭で公的サービス、民間サービスを受けながら家族に介護してもらいたいという在宅介護の希望は五十五割。一方、老人ホームや老人保健施設、病院に入院というような施設介護の希望は二十七割



保健福祉サービス・施設

(一) 保健福祉サービスの認知度
表に示すとおりです。



【日常生活用具の貸し出しサービス】

保留層（わからないと無回答を合わせた層）六十九割を除く、利用意向の有無の比率は七十六対二十四（有・無）でした。

【訪問看護サービス】

保留層（わからないと無回答を合わせた層）六十六割を除く、利用意向の有無の比率は八十対二十（有・無）でした。

【給食サービス】

保留層（わからないと無回答を合わせた層）七十四割を除く、利用意向の有無の比率は五十九対四十一（有・無）でした。

【機能回復訓練】

保留層（わからないと無回答を合わせた層）六十二割を除く、利用意向の有無の比率は八十対二十一（有・無）でした。

【在宅介護支援センター】

保留層（わからないと無回答を合わせた層）六十七割を除く、利用意向の有無は七十八対二十二（有・無）でした。

【高齢者相談センター】

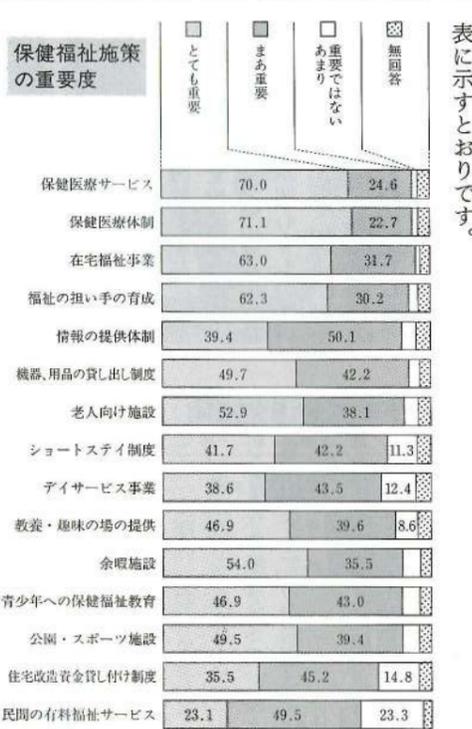
保留層（わからないと無回答を合わせた層）六十二割を除くと、利用意向の有無の比率は七十九対二十一（有・無）でした。

保健福祉施策

地域内の保健福祉施設・活動の改善点

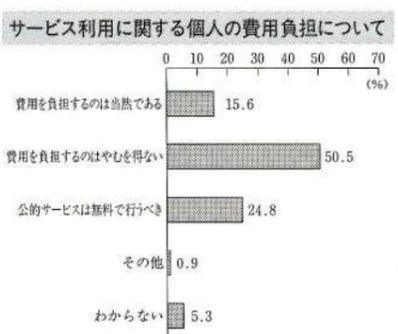
地域内の保健福祉施設（医療機関も含む）や活動において改善が望まれる点は「休日や夜間の救急医療体制」四十一割と「高齢者のための施設」四十割が多く、次いで「地域の医療機関の数」が三十四割でした。

保健福祉施策の重視度



【サービス利用に関する個人の費用負担について】

費用を負担するのは当然である 15.6%、費用を負担するのはやむを得ない 50.5%、公的サービスは無料で行いべき 24.8%、その他 0.9%、わからない 5.3%



老人保健福祉計画策定のための住民意識調査

住民が老人保健福祉についてどのように考えているのかを生の声で聞こうと、高齢者と福祉推進者のそれぞれグループに別れてインタビューを行いました。

高齢者グループ

出席者は男性三名、女性三名の計六名で、六十八歳から七十八歳のみなさんです。

福祉推進者グループ

出席者は男性三名、女性五名の計八名で、家族介護者三名とホームヘルパー、老人保健施設職員、民生児童委員、福祉ボランティア、医師のそれぞれ一名という構成です。

在宅福祉（介護）について

高齢者グループ

出席者全員が、本人や家族が倒れた場合、家庭内で家族による介護を希望していますが、家族の介護に固執することなく、「ホームヘルパー制度」や「デイサービス」などの福祉サービスの拡充を望む声がありました。

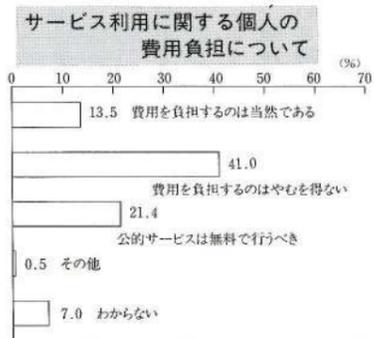
また、福祉サービスを受ける人が、抵抗感や罪悪感を感じないよう周知を図ることも大切なこと

保健福祉施策

（一）保健福祉施策の重視度 各種保健福祉施策において、重視度（とても重要プラスまあ重要）が最も高いのは「医師の往診、夜間休日の診療などの医療体制」であり、八十二割が重要性があると答えています。



今後の保健福祉政策において重要なこと



情報提供のあり方について

高齢者グループ

出席者の多くは「村報」を福祉サービスの周知を図るための媒体であると答えていましたが、情報の浸透力については、座談会などの方が効果的で、その場合、参加者の移動手段についても考えなければならぬという意見もありました。

福祉推進者グループ

福祉サービスの周知を図るためには「村報」などの間接的な媒体を利用していくのではなく、「福祉の体験」や「くちコミ」など、福祉に直接ふれることが、有効に周知させられる方法であるといった意見が多く出されました。

高齢者の生きがい対策について

高齢者グループ

出席者が共通して認識しているのは、経済的安定と健康が、高齢者の生きがいづくりの基盤で、特に老後の生活費に大きなウェイトを占める国民年金制度の拡充を望む声が多くありました。

また、世代をこえた交流や、社会貢献をつうじた生きがいづくりを推進するといった意見もありました。

福祉推進者グループ

高齢者の交流によって生きがい対策とする意見や、高齢者に社会

結果を受けて

老人保健福祉計画策定懇談会がスタート

紹介しましたさまざまな結果を受けて、榛東村老人福祉計画策定懇談会では、このほど一回目の検討会を行いました。

懇談会委員の総勢は二十四名。村議会議員さんや区長さん、福祉関係の方々など、さまざまな分野のみなさんで構成されています。懇談会では、これからも検討会を重ね、ことしの十二月までに榛東村老人保健福祉計画を策定する予定です。

最後にアンケートやグループインタビューにご協力いただいたみなさんに心から感謝します。



村政功労者などを表彰

平成5年度 総合表彰式

受賞おめでとーございます

村政に巧勞のあった人などを表彰する平成5年度の総合表彰式が、7月28日、農民研修館で開かれました。表彰式では村政功労者のほか村税の完納区、国民健康保険の健康家庭などが表彰されました。表彰を受けた行政区、個人の方々を紹介します(順不同・敬称略)。

村政功労者

- ▼前村長：故・浅見道雄(8区)
- ▼前収入役：一倉登(13区)
- ▼前保護司：岩崎市松(10区)
- ▼前村議会議長：岩田好治(12区)、坂庭實(11区)、岡部正芳(10区)、小山貞一(8区)、富沢孝次(14区)、飯塚半七(10区)、青木彦一(5区)、小山昇(9区)、金井義明(15区)
- ▼前農業委員：岩倉春男(17区)、故・福田元二(11区)、深津武司(1区)、岩田久(2区)、牧口得二(5区)、湯浅備(6区)、高橋進(7区)、内海博(8区)、岡部恒正(10区)、坂庭實(11区)、蜂巣幸作(12区)、一倉實(13区)、富沢一郎(14区)、牧口和五(15区)、小川博(16区)、高橋一郎(18区)、清水金一(19区)、星野正美(3区)、布施達夫(5区)
- ▼前区長：星野秀夫(1区)、森田和夫(3区)、塩沢頭一(4区)、山本健次(5区)、高橋弘(7区)、
- ▼前派遣体育主事：永井適(渋川市)
- ▼前社会教育指導員：後藤秀雄(渋川市)
- ▼前青少年育成補導推進委員：村上規(18区)、小野照雄(3区)、高橋美津恵(7区)、松原大(16区)
- ▼前青少年健全育成連絡協議会委員：松岡秀夫(8区)、平柳大三(14区)
- ▼前中学校英語指導助手：カールパイザー(アメリカ)
- ▼社会福祉功労者：青木彦一(5区)
- ▼たばこ税功労者：富沢昭行(11区)
- ▼無診療家庭
- 10年：星野シゲ(1区)
- 7年：三俣清(6区)
- 4年：小林たけこ(15区)
- 3年：岩田國夫(1区)、富沢ノブ子(2区)、入沢景次(7区)、松岡秀夫(8区)、南逸二(12区)
- 2年：阿部智(6区)、大川原松江(7区)、吉田勉(同)、木村四五(8区)、小山順子(9区)、根岸イシエ(同)、小野関勇(13区)、南タマ(同)、富沢八千代(14区)、宿原一郎(16区)、伊与久甚一(18区)、宇留野正治(20区)、岡新一(同)
- 1年：塩沢キヨ子(4区)、柳岡信平(同)、狩野菊次(9区)、小林久雄(15区)、桜井和(同)、小泉清一郎(20区)



納税表彰

- ▼平成4年度完納区：2区、3区、5区、8区、12区、13区、14区
- ▼連続完納区：●連続24回：5区、12区 ●連続6回：14区 ●連続5回：13区 ●連続4回：3区 ●連続2回：2区、8区
- ▼個人完納：2、782世帯(平成4年度における村税の収納率は九八・六割で、昨年度より〇・四ポイント上昇しました)
- ▼前国民年金委員：阿久沢清志(11区)
- ▼前固定資産評価審査委員：善養寺信夫(1区)
- ▼前民生委員・児童委員：善養寺栄三(1区)、牧口節子(5区)、清水五郎(9区)、羽鳥宇吉(10区)、阿久沢浅次郎(11区)、富沢ナミ(14区)、下田美恵(19区)、三川義郎(20区)
- ▼前派遣体育主事：永井適(渋川市)
- ▼前社会教育指導員：後藤秀雄(渋川市)
- ▼前青少年育成補導推進委員：村上規(18区)、小野照雄(3区)、高橋美津恵(7区)、松原大(16区)
- ▼前青少年健全育成連絡協議会委員：松岡秀夫(8区)、平柳大三(14区)
- ▼前中学校英語指導助手：カールパイザー(アメリカ)
- ▼社会福祉功労者：青木彦一(5区)
- ▼たばこ税功労者：富沢昭行(11区)
- ▼無診療家庭
- 10年：星野シゲ(1区)
- 7年：三俣清(6区)
- 4年：小林たけこ(15区)
- 3年：岩田國夫(1区)、富沢ノブ子(2区)、入沢景次(7区)、松岡秀夫(8区)、南逸二(12区)
- 2年：阿部智(6区)、大川原松江(7区)、吉田勉(同)、木村四五(8区)、小山順子(9区)、根岸イシエ(同)、小野関勇(13区)、南タマ(同)、富沢八千代(14区)、宿原一郎(16区)、伊与久甚一(18区)、宇留野正治(20区)、岡新一(同)
- 1年：塩沢キヨ子(4区)、柳岡信平(同)、狩野菊次(9区)、小林久雄(15区)、桜井和(同)、小泉清一郎(20区)

愛の献血協力表彰

- 森田和夫(3区)、狩野啓一(5区)、久保田邦夫(19区)

村の

財産

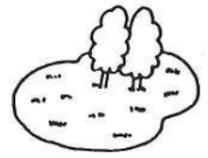
【基金】現金合計 49億8,629万円
土地合計 151万3,203㎡
立木合計 9,219㎡

【建物】

4万1,701㎡

【土地】

111万4,982㎡



(いずれの財産も7月1日現在)

【有価証券】

349万円



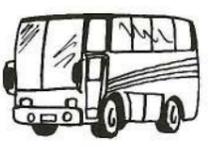
【出資の権利】

948万円



【車両】

41台



区分	年度末現在高
財政調整基金	山林 1,512,749㎡
	立木 9,219㎡
	現在 5億47万円
土地開発基金	土地 454㎡
	現在 1億7,989万円
社会福祉施設整備基金	658万円
国民健康保険基金	9,918万円
国民年金印紙購入基金	30万円
農業用水維持管理基金	27億5,563万円
農業災害基金	770万円
役場庁舎建設基金	6億6,378万円
ふるさと創生基金	1億6,124万円
減債基金	1億7,364万円
地域振興基金	3億4,488万円
地域福祉基金	9,300万円

公表します

村の財政事情

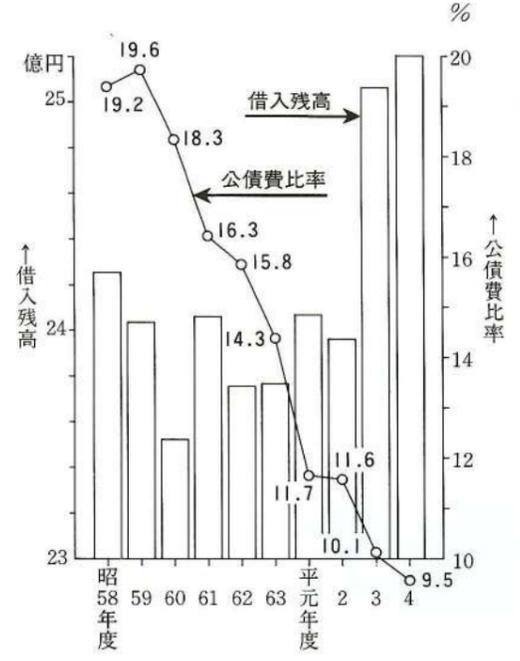
「財政事情の作成および公表に関する条例」に基づき、村の家計簿とも言える村の財政状況をお知らせします(7月1日現在)。今回は、村の財産と借金である村債、公債費比率の推移をお知らせしましょう。



【普通会計における村債の状況】 (単位：千円)

区分	平成3年度末現在高	平成4年度借入額	平成4年度中返済額	平成4年度末現在高
道路・橋梁等	111,860	7,500	12,980	106,380
公園整備	427,790	226,500	109,692	544,598
住宅(貸付含む)	554,863	48,900	28,391	575,372
教育振興	472,032	12,100	19,091	465,041
災害復旧	67,314		10,511	56,803
福祉施設	6,512		1,382	5,130
地域改善	447,365	27,100	53,681	420,784
その他	415,257	5,200	64,950	355,507
計	2,502,993	327,300	300,678	2,529,615

【借入残高及び公債費比率の推移】



注：数値はいずれも元金のみで、利子は含まれていません。

村の借金は



不思議なネジバナの性質の話を聞き入る参加者のみなさん



派遣される中学生のみなさん



7月の太陽を浴びながら水泳の授業を受ける生徒のみなさん



榛名女子学園の滝沢泰造園長から表彰状の贈呈を受ける更生保護婦人会のみなさん

第4回臨時村議会

キャンプ場に関する案件を承認

第四回臨時議会が七月八日、一日限りの会期で開かれました。臨時議会では、工事請負契約の承認やキャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定、村道路線の廃止や認定などの審議が行われました。

工事請負契約の承認

昨年、実施した温水脈空中地下探査の結果に基づいて、新井地内

村営キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定

霞山カントリークラブから補償

村道の路線廃止

新井の清水貝戸地内で行われる公共工事（福祉ふれあい広場）の敷地内にある村道を路線廃止しました。

村道の路線認定

新井の清水貝戸地内の公共工事

東京矯正管区長表彰を受ける 更生保護婦人会

母親の立場から犯罪非行防止のための啓発活動などで活躍している榛東村更生保護婦人会（会長飯塚容子さん）が、このほど東京矯正管区長表彰を受けました。

村営キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定

この表彰は、法務省主催の第四十三回「社会を明るくする運動」行事の一環として行われたもの。同婦人会は、長年にわたって榛名女子学園の教育活動に協力し、

新しいプールで元気に泳ぐ 榛中生徒

中学校の生徒のみなさんは、昨年の末に完成した榛中プールで、体育の授業や夏休みの水泳練習な

榛中生徒

どで元気に泳いでいます。中学校では六月二十三日にプール開きを行いました。長期の梅

中学校の英語指導助手が交替

昨年の八月から中学校の英語指導助手として着任したカール・パイザーさんが、七月をもって退任し、二学期からケリー・ローズさんが着任することになりました。

カールさんは、一年間という短い間でしたが、その間に結婚という人生の節目を本村で迎え、村での思い出は生涯忘れられないことになるでしょう。

一方、着任するケリーさんは、米国イリノイ州モーリン市生まれの二十一歳。オガスターナ大学で教育学などを学び、将来、フランス語の先生を志す二人姉妹の長女です。皆さんも刺しゅうとテニスに興味という彼女を応援してね。



ケリーさんは、榛中で初めての女性の英語指導助手

海外派遣者とホストファミリー決まる

こととして四年目を迎えた村の国際交流事業。このほど、榛、米の親善大使となる社会人一人と中学生十人が決まりました（上の写真参照）。

榛・米親善大使

中学生一行は八月十二日から二十二日までの十一日間、アメリカのイリノイ州のジェネシオ町周辺に、社会人の川端眞一さん（十一区）は、ひと足早く七月二十四日

から八月六日までの十三日間、同じくイリノイ州に滞在します。また、広報六月号で紹介した本村でホームステイをするみなさんのホストファミリーが、下の表のとおり決まりましたので紹介します。なお、ジェネシオ町長のゴーマン夫妻は、夫人が急病のため来日できなくなり、その代行として実質的に町の実務を預かるティム・



派遣された社会人の川端眞一さん

親子で自然とふれあう

公民館の学習講座のひとつである親子自然観察教室が七月十日、県林業試験場で行われました。この教室は、親子で自然に親しんでもらい、自然の大切さを知

てもらおうと昨年からはじまったもの。今回は、自然観察などを趣味としている十区の松岡正さんを講師に呼び、試験場内にある植物の観察や野鳥の観察を行いました。

炭火焼きステーキを安く

ふるさと公園では、七月二十四日、地元産の牛肉消費拡大ステーキフェアを開催しました。この日用意されたのは、広馬場

地区で飼育された牛のステーキ用枝肉百四十キ。値段も安く、また夏休みに入って最初の日曜日という日もあって、公園には村内外

クジャクをプレゼント

このほどふるさと公園のミニ動物園へ吉岡町の渡辺利平さんがクジャク二羽をプレゼントしてくれました。同公園のミニ動物園では、うさ

ふるさと公園へ吉岡の渡辺利平さん

ぎやガチョウ、インコなどが飼育され、子どもたちの人気となっていますが、これにクジャクの豪華な彩りが加わることで喜んでいきます。



思わず見入ってしまう雄クジャクの美しい姿

滞 在 者	姓 名	性別	年齢	受 入 家 族	受入期間
学 生	スウーガー	マリッサ	女 12	一倉 勇さん(2区)	8月6日~18日
	ダブル	マリ	女 12	志村和夫さん(6区)	〃
	ワード	マリ	女 12	金井 徹さん(15区)	〃
	ハッチンソン	トニー	男 14	堀内正雄さん(7区)	〃
	シャトラ	カイリーヌ	女 14	中澤則久さん(11区)	〃
	ローランド	クリストファー	男 15	久保田茂美さん(19区)	〃
	アードン	マーク	男 29	石坂郁夫さん(16区)	〃
一 般	ニューリープ	ベティ	女 62	中村直樹さん(9区)	〃
	ハドソン	マルリン	女 65	小山安雄さん(9区)	〃
	スクラントン	マーヴィン	男 62	小山安雄さん(9区)	〃
	ジョンソン	クライド	男 71	川端眞一さん(11区)	〃
一 般	ジェネシオ町管理者及び事業管理者の	ティム・ローン	男 41	一倉村長(13区) 竹内助役(1区) 青木取入役(5区)	8月6日~10日 10日~13日 13日~18日

合戦や記録が楽しみな大会となるでしょう。

励みとなる功績が今回認められ、表彰されたものです。

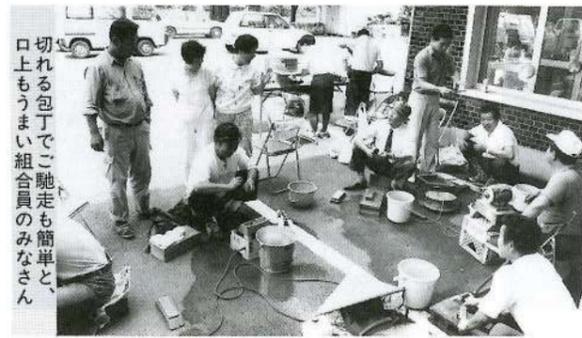


村長にキャンプ施設の目録を渡す(株)ジャパン・セントラル・コロシアム社長の岩瀬信一郎氏

（福祉ふれあい広場）に関連して廃止した村道の同一路線の内、敷地内ではない部分の村道を路線認定しました。



ステーキを焼く煙りがたちこめるふるさと公園の中庭。



棟東ブドウ御オープン

村の風物誌 村を彩る花いっぱい運動

本村はブドウの産地。広馬場地区を中心とした20畝におよぶブドウ園が8月10日一斉にオープンし、ブドウ狩りのシーズンを迎えました。心配されるブドウの作柄は平年並みで、みなさんも棟東の風物詩を味わってはいかがですか。お問い合わせはブドウ組合長の清水清宅（☎54-7595）まで。

7月は、村内各地で花いっぱい運動の苗植えが行われました。早朝、区民総出で作業を行った地区も。本当にご苦労さまでした。
長雨の影響で花の生育も少し遅れ気味ですが、本村の風物詩となったサルビアなどの花が美しく見られるように、これからも大事に育ててください。

3町村で交流会 身障自立更生会

このほど村の身障自立更生会（会長 細野正八郎さん14区）では、新治村と吉岡町の身障者のみなさんと3町村の交流会を行いました。
参加したみなさんは、卯三郎けしや耳飾り館などを見学したあと、南部コミセンで昼食をとり、カラオケ合戦などで楽しんでいました。

主婦に大好評 リフレッシュサービス

家庭の主婦たちに好評を得ている包丁とまな板のリフレッシュサービス。このサービスは毎年、村の大工職組合で行っていますが、ことしは広域の渋川大工職組合の主催により、7月4日、農民研修館で行われました。
この日、砥石などの道具を使って切れ味最高になった包丁は147丁、電動カンナで表面を削って新品同様になったまな板は14枚。また、同組合は、村の社会福祉協議会へまな板12枚を寄贈してくれました。

村の顔をきれいに 建設業協会で道路の美化奉仕作業

自分たちの住む郷土を自らの手できれいにしようと、村の建設業協会（村内17の土建業者で組織）では7月8日、村内の主要道路の環境美化作業を行いました。
毎年、協会自らの企画で実施されるこの作業、ことしは会員35人のみなさんによって、広域農道や長岡観光道路などの草刈りと側溝掃除が行われました。きれいにした道路は、日頃、観光バスの通行量が多く、本村の顔とも呼べる道。雨の中の作業、本当にご苦労さまでした。

お/知/ら/せ/し/た/い/情/報/

村営キャンプ場オープン

自然の中で楽しもう

自然を楽しみながら生活体験を行う新しいキャンプ場が完成しました。この施設は、霞山カントリークラブの移転補償というかたちで、この春より広域組合のゴミ処分場跡地に建設が進められていたものです。利用者のみなさんに使いやすく作られた村営キャンプ場を、このコーナーでは紹介いたします。

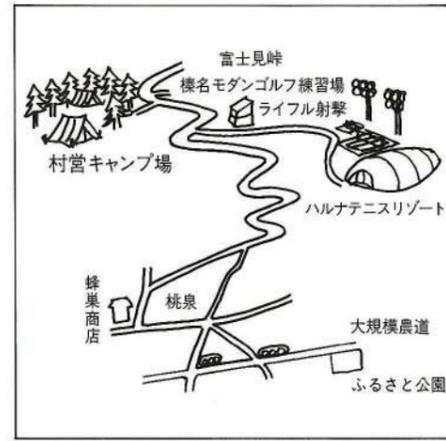
村道から歩いて数分

完成した村営キャンプ場は、榛名モダンゴルフ練習場の入り口の反対側に出入口が設けられ、林道から歩いて二、三分の場所にあります。もちろん自動車でも入れます（イラスト参照）。
入って最初に目に入るのが管理棟。木造平屋建ての立派な建物で、管理室と集会所、テントなどを保管する倉庫があり、ここからは多目的広場やテントを張る場所、炊事場などが一望できるようになっています。

この施設の使用料は、八人用テント一張り二千元（村外者は三千元）で、その料金の中に施設や設備の使用料が含まれています。
みなさんもこの新しいキャンプ場でご家族と自然を味わってはいませんか。ご利用になりたい方は、教育委員会・社会教育課（☎54-12573）で使用申し込みの手続きをお願いします。



どんなに馳走ができるか楽しみな炊事場

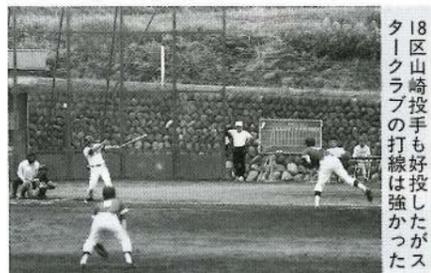


管理棟からみたキャンプ場全景。これからさまざまなお楽しみが広がります

村長杯争奪野球大会

スタークラブ5年ぶりの優勝

六月二十日から七月十一日まで第十四回村長杯争奪野球大会が総合グラウンドで行われました。
参加十五チームによる熱戦が繰り広げられ、決勝戦へは、ことしの区対抗野球大会で優勝して勢いのる十八区と、昨年準優勝のスタークラブが勝ち進み、スタークラブが六対一で十八区を下し、五年ぶりの優勝カップを手に入れました。三位はシグナルAと役場チームでした。
個人賞では、スタークラブの福岡隆志さんが最優秀選手に、十八区の山崎雅彦さんが敢闘賞にそれぞれ選ばれました。



18区山崎投手も好投したがスタークラブの打線は強かった

村民ソフトボール大会

4区が3回目の優勝

八月一日、長い梅雨が明け、夏の陽を浴びながら第四回村民ソフトボール大会が、総合グラウンドと榛中グラウンドで行われました。
ことしの大会には十八チームが参加し、トーナメント方式で試合を行った結果、決勝戦には一昨年（昨年は雨で中止）優勝した四区と十三区が進出。接戦の末、四区が四対一で十三区を下し、三回目の優勝を飾りました。三位は十区と二十区でした。



両チーム互角の試合でしたが、勝利の女神は4区へ（写真・攻撃側）

村民ソフトテニス大会

団体5区チームが3回目のV

八月一日、村民テニスコートにおいて第十一回村民ソフトテニス大会が団体戦に五チーム、個人戦に四十五人が参加して行われました。久しぶりの夏の陽に肌を焼きながら熱戦を繰り広げた結果、団体戦では五区が三回目の優勝を果たし、準優勝は十一区、三位は六区でした。個人戦の結果は次のとおりです。（敬称略）

【個人の部/男子】
優勝：岡部政雄・内海昌平組（10区・13区）
準優勝：南光彦・後閑得雄組（両区9区）
3位：関口健一・高橋琢郎組（7区・18区）

【個人の部/女子】
優勝：柴田直子・水井綾子組（20区・10区）
準優勝：吉沢美代子・下谷正子組（両区7区）
3位：星野郁恵・高野辺春江組（両区3区）



コートは絶好のコンディション、選手たちの好プレーが見られました

胃検診を

受けましょう

日本人の食生活の変化（欧米化）、集団検診の普及、診断・治療技術の進歩などによって、胃ガンの死亡率は減少してまいりました。しかし依然として日本人のガン死のトップを占めています。榛東村でも、平成四年の統計をみますと、数としては減っていますが、胃ガンの死亡は上位に入っています。

「40歳をすぎたら」
要注意です



四十歳をすぎた頃から胃ガンにかかる人の率は急激に増加する傾向が見られます。また、他のガンにも言えることですが、早期の胃ガンは、ほとんど無症状です。四十歳になったらあなたも胃ガンの要注意年齢です。少なくとも年一回は、検診を受けましょう！

9月8日から

胃検診がはじまります

勤め先や病院・人間ドックなどで検診を受ける予定のない人は、ぜひお出かけください。

「仕事で受けられない」という人のために、早朝検診も実施します。「仕事があるから」とあきらめないで出かけください（早



朝検診は、昼間、家にいられる方にご遠慮ください。費用は五百円です（七十歳以上の方は無料）。

胃 検 診 の 日 程		
実 施 日	受 付 時 間	場 所
9月8日(水)	6:00~7:00	農 民 研 修 館
	8:30~10:00	
9月9日(木)	8:30~10:00	2 区 コ ミ セ ン
9月10日(金)	8:30~10:00	南 部 コ ミ セ ン
9月14日(火)	8:30~10:00	18 区 コ ミ セ ン
9月17日(金)	6:00~7:00	南 部 コ ミ セ ン
	8:30~10:00	
9月20日(月)	8:30~10:00	笹 熊 集 会 所
9月21日(火)	6:00~7:00	農 民 研 修 館
	8:30~10:00	
9月24日(金)	8:30~10:00	農 民 研 修 館
9月30日(木)	6:00~7:00	農 民 研 修 館
	8:30~10:00	

広報しんとクイズ解答用紙

この用紙に答えを書き、区、氏名、年齢、世帯主名を記入して北小、南小、榛中、農民研修館に置いてある箱に入れるか、役場企画広報課までお送りください。正解者の中から抽選で30名の方に記念品をお贈りします。しめ切りは8月31日です。

区 _____ 氏名 _____

年齢 _____ 世帯主名 _____

①		②	③	④	
		⑤			⑥
	★				★
⑦				⑧	
		⑨	⑩		
		⑪			
	★				★

(★をつなげてひとつの言葉にしてネ)

意見・通信欄 村政に対するご意見、要望、質問、提案などがありましたら、どんなことでも結構です。裏面を利用してお寄せください。

おめでた おくやみ

- お誕生おめでとうございます
- 19区 片原 健汰ちゃん 5月21日生 (誠さん長男)
 - 21区 新谷 将司ちゃん 5月24日生 (興也さん長男)
 - 13区 一倉 明日葉ちゃん 5月26日生 (伸一さん長女)
 - 16区 野村 利樹ちゃん 5月28日生 (貢さん長男)
 - 18区 村上 裕亮ちゃん 5月29日生 (稔さん二男)
 - 21区 山村 大喜ちゃん 6月4日生 (勝さん長男)
 - 13区 清水 深佳ちゃん 6月6日生 (寛章さん長女)
 - 9区 狩野 明日翔ちゃん 6月8日生 (弘志さん長男)
 - 6区 阿久澤 拓也ちゃん 6月9日生 (稔さん長男)
 - 13区 清水 麻世ちゃん 6月11日生 (範雄さん二女)
 - 3区 萩原 菜摘ちゃん 6月14日生 (二さん長女)
 - 4区 渡辺 優也ちゃん 6月15日生 (信さん長男)
 - 19区 朝倉 千耀ちゃん 6月16日生 (康智さん長男)
 - 9区 牧口 健太郎ちゃん 6月20日生 (政昭さん長男)
 - 9区 高橋 直豊ちゃん 6月21日生 (康夫さん三男)
 - 11区 佐俣 真帆ちゃん 6月22日生 (良一さん二女)
- おくやみ申し上げます
- 3区 森田 正雄さん 74歳
 - 4区 高田 春男さん 63歳
 - 6区 岡部 ジャウさん 82歳
 - 8区 浅見 サトさん 91歳
 - 13区 南 ツネさん 91歳
- (この欄に掲載を希望しない場合は、届け出のとき窓口までその旨お話しください)



わが家のアイドル
9区 小山 祥太ちゃん (裕二・裕子さんの長男 1歳)
「みんなに好かれ、男らしく育ててもらいたい。」

人口と世帯 (7月1日現在)

総人口	12,209人 (-18)
男	6,275人 (-27)
女	5,934人 (+9)
世帯数	3,633戸 (-42)

()は対前月

村内の交通事故 (7月末日現在の累計)

事故件数	42件 (+6)
死者	0人 (±0)
傷者	53人 (+4)

* ()は前年同期対比

シートベルトは必ずしましょう

お詫びと訂正

広報7月号の7ページの南こずえさんの紹介で、北小五年生とあったのは、北小六年生の誤りでした。お詫びして訂正します。

こちら編集室

この原稿を書いているときに、この夏、まだアラゼミの鳴くのを聞いていないことに気が付きました。テレビなどのCMの効果音で耳にしただけです。夏、アラゼミの鳴く声を聞きながら、井戸で冷やしたスイカを、縁側で家族と一緒に食べたことが、貴重な思い出に感じます。完成した村営キャンプ場、自然の中で子どもたちが、きらめく星の夜景を眺めながら、将来、大人になってなつかしく感じるような、思い出ができることを願います。(青)